

平成25年度 事業報告

平成25年度事業の実施にあたっては、事業計画に基づき国際交流促進事業、国際理解促進事業、多文化共生促進事業及び民族文化学習研究事業の4点を柱として、地域住民や国際交流団体、ボランティアの方々の参加と協力を得ながら、各種事業に取り組みました。

平成25年度に実施した主な事業は次のとおりです。

1. 国際交流促進事業

地域住民が国際交流を身近に体験する機会として、関係団体、ボランティアとの連携を図りながら、世界各国の文化・芸能・料理・音楽等を紹介する各種の催しを実施した。

(1) 交流イベント開催・支援事業

①第19回国際村ワールドバザールの開催（実行委員会）

- 期 日 6月9日（日）
- 参加者等 3,300名
- 会 場 国際村
- 内 容 国際村登録団体・ボランティアによる企画開催
世界の民族料理の模擬店、大道芸、フリーマーケット、
ステージ発表、関係団体のパネル展示

②出羽庄内国際村音楽祭（実行委員会）

- 期 日 9月28日（土）
- 参加者等 213名
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 ウクライナ出身の演奏家 ナターシャ・グジー氏による
伝統楽器バンドウーラの演奏と歌のコンサート

③新年を祝う会

- 期 日 1月26日（日）
- 参加者等 約 60名
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 日本語教室関係者、語学講座関係者、ボランティアなど
国際村事業の関係者を対象とし、参加者一品持ち寄りの
パーティー、ビンゴ大会、椅子取りゲーム、踊りのステ
ージなどを行った。

(2) 交流事業の開催支援／実施

① 公立高校交換留学生派遣受入れ支援

県立鶴岡中央高校とアメリカ・ワシントン州の公立サムナー高校との交換留学を支援した。

○期 間 (派遣) 4月 1日～6月27日

(受入れ) 6月28日～8月27日

○派遣生 男子1名 受入生 女子1名

② コロラド州 青年訪問団 受け入れ事業

○期 日 6月6日～6月16日

○参加者等 8名 (内、引率者1名)

○会 場 庄内地域各所

○内 容 鶴岡市を中心にホームステイの受入を調整。朝日大泉小学校や鶴岡中央高校、羽黒高校の児童や生徒との交流。しな織り体験や絵ろうそく作りなど鶴岡の伝統文化の体験メニューを提供。訪問団は6月9日のワールドバザールにボランティアとして参加し地域住民との交流を深めた。

③ ワシントン州 サムナー高校訪問団 受け入れ事業

○期 日 6月22日～7月1日

○参加者等 11名 (内、引率者1名)

○会 場 庄内地域各所

○内 容 鶴岡市を中心にホームステイの受入を調整。羽黒第一小学校や鶴岡中央高校、羽黒高校の児童や生徒との交流。日本伝統技術である畳作りの見学や羽黒山登山など鶴岡の観光各所の見学等の体験メニューを提供。国際村のワールドコミュニケーションクラブのメンバーと一緒に芋煮づくりなどをして交流を深めた。

2. 国際理解促進事業

(1) 語学講座の開講

英語、中国語、韓国語の講座を開催。

テキストなど教材を使用しての語学学習、また外国出身の講師との交流により、言語やその国や地域に対する理解を深めた。

英語・中国語・韓国語、日本語は、自由に話せるフリートーク型講座を開催した。

①外国語講座

- 英 語 72名
- 中 国 語 28名
- 韓 国 語 37名
- 合計： 137名

②短期・個人レッスン

企業からの依頼により、一対一の短期特別講座を国際村で開講

- インドネシア語 1月～2月
- ポルトガル語 10月～12月

③出張外国語講座

企業からの依頼により財団から講師を派遣し出張講座を開催

- 中国語 1月～12月 (全12回)
- 受講生 16名

④フリートーク型講座

時々の話題を外国出身の講師と自由に話せる講座を毎週開催した。

- 英 語 毎週木・不定期に土曜日
- 中 国 語 毎週木・土曜日
- 韓 国 語 毎週日曜日
- 日 本 語 不定期に日曜日
- 参加者数 延べ718名

⑤中国語 一日実践講座

- 期 日 10月20日(日) 13:00 ～ 17:00
- 指 導 者 語学等指導者9名(うち中国出身者8名)
- 参 加 者 16名
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 「一日の行動を中国語で話してみよう」というテーマで、参加者が日常生活について中国語で表現したり会話したりできるよう、様々な場面を設定して実践的な中国語講座を実施した。

⑥英語 特別講座

- 期 日 2月23日(日) 13:00 ～ 17:00
- 指 導 者 語学等指導者8名、ボランティア2名
- 参 加 者 26名

- 会 場 国際村ホール
- 内 容 旅行中に遭遇すると思われる様々なシーンごとにブースを設け、その場にあった内容の会話をネイティブスピーカーと一緒に作るなど、実践的な会話講座を実施した。

(2) 国際理解講座等の開催

子どもから大人まで、多くの方々がそれぞれの興味に応じて参加できるような、料理や体験講座など国際理解講座のカリキュラムを作成し実施した。

①せかいの台所：料理講座

庄内に住む外国出身者を講師に迎え、料理を通して交流しながら、その地域の言語や文化など、理解を深めるための講座を実施した。(年6回開催)

- アイルランド、ルワンダ、フィリピン、タイ、中国、バングラデシュ
- 参加者 延べ80名
- 会 場 国際村 調理実習室、和習室

②ワールドコミュニケーションクラブ

英語での自己紹介、ゲーム等 毎月開催した。

- 指 導 者 コーリー・ハンニガン氏 (庄内在住 ALT)
クリス・ブロード氏 (庄内在住 ALT)
- 参加者等 中高生、高専生 延べ 44名
- 会 場 国際村研修室、和習室ほか
- 内 容 英語を使ったゲーム、コロラド州の日本語を学んでいる生徒たちと、インターネットを使ったテレビ電話で会話したりするなどし、英語を実践的に学んだほか、欧米の文化などについても学んだ。
ワールドバザールでは、コロラド州からの訪問団と一緒にステージで英語の歌を発表した。

③太極拳体験講座

- 期 日 4月2日(火)～3月18日(火) 全36回
- 指 導 者 覃 莉莉 氏 (上海出身/酒田在住)
- 参加者等 前期11名、後期8名
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 中国武術の一門派である伝統太極拳の体験・習得

④フレンドシップサロン

外国人や海外活動経験者を講師に迎え、様々な現状や理解を深めため自由に意見交換できる講座を2回開催した。

○「フランス入門@ニース・コートダジュール」

スピーカー：佐藤 幸（出羽庄内国際村事務局主事）

○「コロラドスタディツアー2013 報告会」

スピーカー：2013年国際村のコロラドツアー参加者8名

中学生1名、高校生3名、高専生3名、社会人1名

○参加者等 延べ合計：31名

○会場 国際村喫茶店「ふるさと」

(3) 学校向け国際理解講座等の開催

①鶴岡南高等学校国際理解授業

学校主催「社会人講話」に講師を派遣した。

○期 日 6月27日（木）

○参加者等 高校1年生22名

○会場 鶴岡南高等学校

○内 容 今後の進路を考えるため、国際関係に興味ある生徒に地域における国際関係の仕事、出羽庄内国際交流財団の役割と事業内容、仕事と外国との関連等を話した。

②鶴岡中央高等学校国際理解授業

「総合学習」の授業に講師を派遣した。

○期 日 1月24日（金）

○参加者等 高校2年生9名

○会場 鶴岡中央高等学校

○内 容 総合学科国際交流系列の生徒に対し、地域での国際交流や出羽庄内国際交流財団の業務内容を紹介した。

(4) コロラド訪問団派遣

英語交流クラブ会員を主とした中学・高校生訪問団を、山形県と姉妹州であるアメリカ・コロラド州に派遣し、ホームステイ等を通して、地域の青少年の国際感覚の育成、英語実践力の向上、国際理解を深めた。

○中高生・社会人コロラドスタディツアー

○期 日 7月25日～8月6日 13日間

○参加者等 中学3年～高専3年 7名

社会人 1名

- 行き先 アメリカ、コロラド州デンバー近辺
- 内容 滞在は一人または二人一組でホームステイをした。
現地英語教師による英語レッスン、国立公園での環境学習等の自然体験などを行った。またデンバー総領事館訪問、日系人会の行事などに参加。見学等での訪問先では英語でのコミュニケーションを積極的に図った。

3. 多文化共生促進事業

在住の外国出身者が地域で安心して暮らせるよう、日本語指導、日本文化の体験、生活相談業務、情報の収集提供など各種事業を実施した。

(1) 日本語教室運営支援事業

毎週日・火・水・土曜日に開催している国際村日本語教室の運営の支援を行った。

①日本語教室

- 開催日 毎週日・火・水・土曜日
- 体制 日本語指導者ボランティア 36名
- 学習者 60名(12ヶ国)
アメリカ、ウガンダ、カナダ、韓国、中国、ボリビア、ルワンダ、インドネシア、スコットランド、アイルランド、シンガポール、フランス

②日本語指導ボランティア講習会

(共催(公財)山形県国際交流協会、出羽庄内国際村日本語教室)

- 期日 6月15日、6月16、18日の計3回
- 参加者等 5名
- 会場 国際村研修室
- 内容 日本語指導の方法、教材の使い方など
- 対象 日本語支援に興味がある方

③第3回日本語スピーチコンテスト in 庄内

(主催：実行委員会、事務局：酒田市まちづくり推進課市民交流推進室)

庄内地域の国際交流関係機関・団体、日本語教室等と連携し、庄内在住の外国出身者による日本語スピーチコンテストを実施した。

- 期日 11月13日(日)
- 参加者等 発表者：9名、来場者：約100名
- 会場 酒田市公益ホール 来場者：約100名

④日本語教室お花見会

- 期 日 4月21日(日)
- 参加者等 14名
- 内 容 日本語教室の学習者と指導者が懇親を深めながら、日本の季節行事を体験した。雨のため、国際村で行った。

⑤日本料理講座：器の会

ボランティアによる外国人向けの日本の家庭料理講習会を開催した。

- 期 日 5月25日(日)
- 参加者等 延べ9名
- 会 場 国際村調理実習室・和習室

⑥ぶどう狩り&芋煮

- 期 日 9月29日(日)
- 場 所 櫛引の果樹園
- 参加者等 22名
- 内 容 ぶどう狩りと芋煮を通して、日本語教室の学習者と指導者が懇親を深めながら、日本の季節行事を体験した。

⑦寿司をにぎってたべよう！

- 期 日 2月2日(日)
- 場 所 国際村調理実習室・和習室
- 参加者等 15名
- 内 容 市内寿司店(三幸寿司)の店主より、寿司の握り方や作法を教わった。

(2) 生活相談業務実施事業

生活相談業務担当者として国際交流専門員を配置し、必要に応じ行政、他の機関とも連携し、相談に対応した。

また、私費留学生への奨学金を支給した。

①生活相談窓口の設置

在住外国人及びその家族の生活相談等の業務を実施した。

- 生活相談等 61件
- 内 容 家族・家庭： 16件 医療・福祉： 2件
生活環境等： 3件 労働関係： 4件
教育・子育て： 19件 年金・税金： 1件
その他(在留資格等)： 16件

②通訳・翻訳の対応

- 依頼件数 64件（通訳46件、翻訳18件）
- 依頼主 個人43件、公的機関14件、企業5件、その他2件
- 言語 英語・中国語・韓国語・ベトナム語、ドイツ語
- 内容 生活全般：22件 医療関係：9件
教育関係：15件 観光関係：2件
その他：16件

③コミュニティ通訳者自主勉強会

外国出身者も参加、医療や教育、観光など通訳シミュレーションを行いながら専門用語や適切な表現などを習った。

中国語、英語、韓国語の3グループで、それぞれ毎月1回の勉強会を行った。

- 期日 毎月1回（日曜日）開催
- 中国語 11回開催 参加者：79名
- 英語 11回開催 参加者：52名
- 韓国語 12回開催 参加者：37名
- 会場 国際村研修室、応接会議室

④外国人留学生奨学金交付事業

山形大学 大学院生2名に奨学金を交付した。

- 大学院生 2名 各24万円

⑤生活ガイドブック・情報マップの配布

地域在住の外国出身者向けに、生活に必要な基本情報を記載した多言語版生活ガイドブックとマップを関係機関に配布した。

- 作成言語 英語、中国語、韓国語

⑥中国帰国者向けのスクーリング

山形県健康福祉部健康福祉企画課から中国残留帰国者を対象とするスクーリングの講師依頼を受け、中国帰国者定着促進センターの「遠隔学習課程」の日本語講座を開講した。

- 日本語講座
- 期日 7月～3月、月2回 計18回
- 参加者 4名
- 場所 鶴岡市中央公民館

(3) 情報収集提供事業

国際化に対応するための情報の収集・提供するためのシステムづくりを進めるとともに、ホームページの充実、会報を発行した。

① ホームページの充実

講座やイベントの告知、報告など、最新情報を提供して、ホームページの充実を図った。

② 会報の発行及びイベント情報などの提供

「村だより」を発行し、会員に国際村のイベント情報などを提供した。

③ インターネットコーナーの設置

無料で使えるパソコン・インターネットコーナーを設置し、来館者、在住外国人の利便に供している。

4. 民族文化学習研究事業

① 際民族文化学習研究事業

アマゾン民族館に展示・収蔵している世界の民族資料の紹介を行い、特別企画展示等を通じて同館のPRを図った。

○アマゾン民族館

見学校：東北芸術工科大学、鶴岡工業高等専門学校、
産業技術短期大学

○特別企画展示「世界の民族と文化」

② ゴールデンウィーク アマゾン子どもフェスティバル

○期 日 5月3日(木)

○参加者等 90名(子ども45名、大人45名)

○内 容
山口館長のアマゾンについてのお話とスライド上映
クイズラリー(景品：アマゾンの蝶のハネ入りしおり)
マンジョーカイモを試食
インディオの羽根飾り試着
鳥笛をならしてみる体験

③ 夏休みアマゾン子どもフェスティバル

○期 日 8月10日(土)

○参加者等 17名(小学生対象)

○内 容
山口館長のアマゾンについての話
アマゾンについて詳しく学ぶワークシート

木の実や種で首飾り作り体験
 青バナナの試食
 アマゾン植物・グァラナの飲み物の試飲

④やまがたアートライン推進事業 夏休み子どもミュージアムめぐり

- 期 日 7月20日～8月31日
- 来場者数 437名
 内、スタンプラリー参加者 27名
 スケッチ企画参加者 57名
- 内 容 スタンプラリー（3つ集めると景品）
 展示品のスケッチ（参加者、入賞者には景品）

⑤やまがたアートライン推進事業 「ミュージアムフェアやまがた2013」

「東北文化の日」（10月26日・27日）に合わせ、この日から約1か月間「ミュージアムフェアやまがた2013」を開催し、周知のためのリーフレットを作成、各館で特典・割引・イベントなどを実施した。

- 期 日 10月26日～月27日
- 来場者数 10名
- 内 容 入館料1割引

⑥永武ひかる講演会＋写真展

- 講演会期日 11月30日（土）
- 写真展期日 11月26日～12月1日
- 参加者等 延べ62名
- 内 容 写真家永武ひかる氏の「森に聴く from アマゾン」をテーマとした講演会と写真展を開催

5. その他

(1) 賛助会員

- 平成25年度実績
 - ・個人会員 247名（大人245名、小中2名）
 - ・法人会員 9口

(2) 本財団評議員会・理事会の開催状況

① 評議員会

- 定時評議員会（平成25年 6月20日）
 - 第1号議案 平成24年度収支決算について
 - 第2号議案 平成25年度における役員の報酬について

- 第3号議案 評議員の補欠選任について
- 第4号議案 理事の選任について
- 第5号議案 監事の選任について

臨時評議員会（平成26年 3月12日）

- 第1号議案 監事の補欠選任について

② 理事会

第1回理事会（平成25年 5月29日）

- 第1号議案 平成24年度事業報告について
- 第2号議案 平成24年度収支決算について
- 第3号議案 評議員の補欠候補者について
- 第4号議案 役員の候補者について
- 第5号議案 平成25年度定時評議員会の開催について

第2回理事会（平成25年 6月20日 みなし決議）

- 第1号議案 理事長の選定について
- 第2号議案 常務理事の選定について

第3回理事会（平成26年 2月10日 みなし決議）

- 第1号議案 監事の補欠候補者について
- 第2号議案 臨時評議員会の開催について

第4回理事会（平成26年 3月12日）

- 第1号議案 平成26年度事業計画について
- 第2号議案 平成26年度収支予算について
- 第3号議案 公益財団法人出羽庄内国際交流財団会計規程の一部改正について

③ 監事監査

平成25年5月23日（木）

- 平成24年度事業報告及び収支決算に関する監査業務